

IV 平成 30 年度の主要な事業動向

1 Y o t t e k o (ヨッテコ)での新しい取組と愛知県図書館の基本的な運営方針 後半 5 年の行動計画の策定

(1) Y o t t e k o (ヨッテコ)での新しい取組

1階エントランスのY o t t e k o (ヨッテコ)は、「繰り返し訪れたいくなるような知的で明るい空間」を目指し平成 30 年 3 月にオープンした。図書企画展示の他にオープンな空間を利用した講座やイベントを実施する場所となっている。可動式のテーブルと椅子を配置したグループ学習席は、話し合いができるスペースとして学生、社会人のグループ学習に利用されており賑わいの場となっている。5 月には隣接スペースにカフェもオープンし、憩いの空間としても活用されている。

平成 30 年度には、Y o t t e k o (ヨッテコ)では次のような新しい取組みを実施した。詳細はP.11～17「実施事業一覧」参照。

ア 愛知県美術館学芸員による連続講座「美術と文学」(年 4 回)

イ リベラルアーツカフェ(年 4 回)

ウ シリーズ企画の実施 親子で楽しめる「作ってみよう!」「いきもの教室」、一般の方を対象とした「健康講座」など。

エ Y o t t e k o (ヨッテコ)では、軽い飲食を可とした。

オ Y o t t e k o (ヨッテコ)の紹介動画を作成し、ホームページに掲載した。

(2) 愛知県図書館の基本的な運営方針 後半 5 年の行動計画の策定

平成 26 年 8 月に策定した「愛知県図書館の基本的な運営方針～すべての県民に役立つ拠点図書館をめざして～」(取組期間 H26～H35 年度)は、少子高齢化や経済のグローバル化の進行、情報流通の劇的な変化など社会情勢の変化、図書館法の改正(H20)や文部科学省の「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の告示(H24)などを踏まえて作成された。

「愛知県図書館の基本的な運営方針」では、後半 5 年(2019 年度～2023 年度)の行動計画は、前半 5 年の事業の進捗状況を踏まえ改めて検討するとしており、平成 31 年 3 月、前半 5 年の事業の進捗状況と、愛知県文化芸術振興条例(H30.3)や「あいち文化芸術振興計画 2022」の策定(H30.7)、しなやか県庁創造プラン(根源的問い直しワーキンググループ)による県図書館の役割の見直し等の動向を踏まえ、2019 年度から 2023 年度までの図書館の具体的活動についての行動計画を策定した。

2 資料の収集

(1) 資料の収集

ア 図 書

平成 30 年度は、13,023 冊の図書を受け入れた(購入:和書 9,414 冊、洋書 35 冊、計 9,449 冊。寄贈:和書 3,428 冊、洋書 62 冊、計 3,490 冊。貸出文庫用図書からの受入:84 冊)。購入による受入は、平成 18 年度から平成 21 年度までの 21,000 冊程度から、その後は資料購入費の減少に伴って購入冊数が減少しており、平成 30 年度は 9,449 冊であった。拠点図書館として市町村立図書館のニーズに応えるとともに、県図書館としての魅力を形づくる特徴的なコレクションを構築するため、資料収集方針及び資料選択基準に基づき、「ものづくり文化資料」、「地域資料」及び「健康・医療資料」について重点的に収集を行った。

平成 30 年度末現在での図書蔵書冊数は 1,155,012 冊である。(1,142,496 冊(29 年度末) +13,023 冊(受入) -507 冊(除籍))

イ 新聞・雑誌

平成 30 年度当初の継続受入資料は、新聞 94 紙、雑誌 2,009 タイトルで、うち新聞 34 紙、雑誌 1,241 タイトルは寄贈によるものである。

ウ AV 資料

教養や文化面で資料価値の高い資料を中心に収集しており、平成 30 年度はDVD 118 点、CD 136 点を受け入れた。購入・寄贈の別では、購入 179 点、寄贈は文化財の記録映像など 75 点である。DVD、CDともに、前年度に引き続き、劣化の進むビデオカセットやカセットテープ、旧蔵レーザーディスクの代替資料の購入を進めた。平成 30 年度末現在での所蔵総数はDVD 始め映像資料 6,019 点、CD 始め録音資料 17,882 点である。

3 来館者サービスの状況

(1) 入館者、貸出、レファレンスサービス等

平成 30 年度の入館者数は 529,750 人（前年度比 95.5%）、1 日平均の入館者数は 1,885 人である。平成 30 年度末現在の有効登録者数は 41,139 人（平成 30 年度新規登録者 13,040 人）で、郵便による利用カード発行には 65 名（前年度 79 名）の申込みがあった。

資料の個人貸出点数（図書、AV 資料）は、453,049 冊・点（前年度比 96.0%）、1 日平均は 1,612.3 冊・点（前年度比 96.3%）であり、資料への予約は 33,733 件（前年度比 125.1%）で、このうち利用者自身によるオンライン予約は 26,988 件（前年度比 137.9%）であった。貸出中でない図書のオンライン予約（在架予約）について、平成 30 年 6 月 15 日から 2 か月間試行を行い、一定の利用（1 日平均 26.2 件）が確認できたことから、9 月 13 日以降本実施へ移行した。

また在架予約の試行と同時に、市町村立図書館の購入状況を把握し、市町村立図書館を支援する拠点図書館としての役割に相応しい選書を行うため、新刊図書に集中する傾向がみられた個人からのリクエスト図書の受付を発行後 6 か月経過後とした。

レファレンス件数は 36,206 件（前年度比 106.9%）であった。

(2) 児童に対するサービス

平成 30 年度末現在、開架に図書 32,776 冊、閉架も含めると 85,417 冊、雑誌は全て開架で 32 タイトルを所蔵している。児童図書の貸出冊数は、前年度の 94.8%で、81,355 冊であった。

発行物では、新着図書を紹介する『新しく入った本』（月刊）とおすすめ本を紹介する『じどうとしよしつだより えほん』（季刊）、『児童図書室だより ものがたり・ちしきの本』（季刊）を発行した。

テーマ展示では、「2018 サッカーワールドカップ開催地 ロシアってどんな国？」のほか、「いわさきちひろ生誕 100 年」「平成のファンタジー」など 2 か月ごとにテーマを変えて関連図書の展示と貸出を行った。

「おはなし会」については、幼児向け、小学生向けを年間 23 日 46 回（参加者 618 名）、平成 30 年度新たに始めたあかちゃん向けを、年間 23 日 23 回行った（参加者 408 名）。4 月 23 日の子ども読書の日の記念行事としては、4 月 15 日に、読書手帳を作成する工作教室を行ったほか、4 月 21 日に子ども読書の日記念おはなし会として、読み聞かせと折り紙を行った。夏休み中の 8 月及び冬休み中の 12 月には、簡単な実験や工作などを行う「おたのしみ会」（参加者 102 名）を行った。

(3) 障害者へのサービス

平成 30 年度に視覚障害者用に製作した録音図書 DAISY（デイジー）の数は 28 タイトル、そのうち既蔵テープからデータ変換したものは 4 タイトルで、平成 30 年度末現在の DAISY の所蔵総タイトル数は 963 タ

イトルとなった。

視覚障害者への対面朗読は、利用者数が延べ132人(前年度比89.8%)、対応した朗読者数が延べ97人(同95.1%)、朗読時間数が216時間30分(同92.4%)であった。

視覚障害者資料の貸出数は、自館資料の貸出が、個人613タイトル(同62.4%)で、他施設から借り入れた資料の提供数は3,588タイトル(同90.1%)であった。自館資料の他施設への貸出は、527タイトル(同87.7%)であった。

自館資料の貸出数が前年度に比べて減少したのは、平成30年8月に国立国会図書館のデータ送信事業に参加してコンテンツデータをインターネット上にアップロードし、ダウンロード利用ができるようになったことが理由として考えられる。自館製作デジタイズ図書全576点について、平成31年3月までにすべてのアップロードが完了した。このデータに対する平成30年8月から31年3月のダウンロード数は21,338件であった。

当館が加入している視覚障害者等への情報提供ネットワークシステム「サピエ」は、点字・録音図書の施設間相互貸借のための書誌データベースのほか、電子図書館の機能もあることから、利用者個人の「サピエ」への直接利用もサポートしている。国立国会図書館とサピエとは連携しており、当館が国立国会図書館へアップしたデータも、サピエからダウンロードすることができる。平成30年度は新たに県図書館を經由して10人が登録し、総数は58人となった。

心身障害者へのサービスは、平成30年4月に利用規程を改正し、貸出期間を郵送にかかる日数を除く22日から29日に拡大した。郵送貸出の数は、580点(同119.1%)であった。

(4) 各コーナーの状況

県立図書館としての役割や県行政を推進する観点から次のテーマについて集約したコーナーを設置している。

ア 地域資料

愛知県の人・事物について書かれた資料、県内行政刊行物、その他愛知県に関する資料を収集している。平成30年度末現在、開架に図書39,935冊、受入継続雑誌353タイトル、閉架も含めると図書80,664冊(前年度比2,163冊増)、雑誌1,343タイトル(前年度比10タイトル増)を所蔵している。

イ ビジネス情報

企業経営、起業、資格取得、就職関係の資料を集約したビジネス情報コーナーを平成17年3月に開設、平成28年度に社史コーナーを開設した。平成30年度末現在、図書約5,400冊と受入継続雑誌35タイトルを開架している。

なお、平成30年度は企画展示「起業を応援します」を開催し、関連事業として、日本政策金融公庫主催の起業セミナーを開催した(参加者53名)。

ウ 多文化サービス

多文化共生社会への意識づくりと在住外国人への日本語教育等を支援するため、平成18年3月に中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語で書かれた図書や日本語学習用の図書を備えた多文化サービスコーナーを開設した。平成30年度末現在約5,300冊を開架しており、文学や日本語学習用の図書を中心として安定した利用が続いている。

エ ティーンズ

中・高生に読書により親しんでもらうため、「ティーンズコーナー(平成17年3月開設)には、平成30年度末現在約7,500冊を配置して

いる。そのうち約 20%が常に貸出されており、多くの利用が続いている。
また、利用者参加型企画「てこぼん」(ティーンズコーナーポイントG
e t 大作戦!)を継続して開催し、利用者が書いたPOP(お気に入りの
本を文章やイラストなどを使って紹介したもの)を活用して他の利用者
にPRすることにより、さらなる利用促進を図っている。また、7月か
ら9月にかけて、来館者の投票によりPOPの優秀作を選ぶ「第7回て
こぼん大賞」を実施した。

(5) 企画展示・講演会等の開催

ア 企画展示・講演会

利用者と図書館資料をつなぎ、県図書館の利用を促進するとともに
図書館を知ってもらう活動として、企画展示・講演会等を開催している。
1階のY o t t e k o (ヨツテコ)を活用し、平成30年度には明治150
年企画展示「産業遺産を訪ねる」、「戦国合戦と刀剣」などを実施した。
詳細はP.11~17「V実施事業一覧」参照。

イ 一般向け講演会の実施

図書館講演会「AI時代にこそ、活きる読書」
日 時 平成30年11月11日(日) 13:00-15:00
場 所 愛知県図書館大会議室
講 師 愛知県書店商業組合理事長 春井宏之氏
参加者 49名
内 容 書店商業組合の活動、本や読書の大切さなどについて書店
の立場からお話しいただいた。

4 インターネットを利用したサービスの状況

(1) アクセス状況

当館 Web サイトのトップページへのアクセス数は1,109,443回(前
年度比98.2%)と減少した。しかし、愛知県図書館の蔵書検索ページのア
クセス数は1,775,972回(同94.5%)であり、トップページのアクセス数
に比して高い数値を示していることから、トップページを経ずに直接蔵
書検索を行う利用者が相当数いると考えられる。

横断検索「愛蔵くん」には、県図書館、県内市町村立図書館(48館)、
公民館図書室(2館)及び専門図書館(3館)が参加しており、横断検
索のアクセス数は561,364回(PCからのアクセスのみ。スマートフォン
等携帯端末を除く)(同101.1%)と増加した。携帯サイトの総ページ
ビューは32,312ページ(同72.8%)に減少した。

(2) 地域資料のデジタル化の推進

当館が所蔵する貴重な地域資料の効率的な利用のため、デジタル化を
平成15年から順次推進している。平成30年度末現在、「絵図の世界」(758
点)、「絵はがきコレクション」(108セット)、「貴重和本デジタル
ライブラリー」(188タイトル)の3コレクションをホームページに掲
載し、高精細画像の閲覧が可能である。

「貴重和本デジタルライブラリー」は、引き続き書誌データの整備を
進めており、平成30年度は12タイトル分の整備が完了した。今後も順
次タイトルの増加を図っていく。

(3) ナクソス・ミュージック・ライブラリー

音楽配信サービス「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」(平成
26年4月から開始。クラシックを中心として同時20アクセス)の平成
30年度の利用件数は、総計22,220件(前年度比90.9%)であった。

(4) 国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス

ア 国立国会図書館デジタルコレクション

国立国会図書館のデジタル化資料のうち、インターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手困難な資料、約 150 万点が館内の端末で閲覧、複写できる（平成 27 年 5 月サービス開始）。平成 30 年度の利用は延べ 443 人（前年度比 144.7%）であった。

イ 歴史的音源（れきおん）

「歴史的音源」は 1900～1950 年頃の S P 盤等のデジタル化音源で、インターネット公開している音源約 3,800 点と、参加図書館に限定して提供される資料約 46,000 点を館内インターネット用端末（8 台）から聴取できる（平成 23 年 5 月サービス開始）。平成 30 年度の利用は延べ 124 回（前年度比 169.9%）であった。

(5) 館内インターネット用端末・CD-ROM 端末の状況

平成 30 年度の館内インターネット用端末・CD-ROM 端末の利用は延べ 17,922 人（前年度比 90.9%）で、うちデータベースは 789 人（前年度比 107.9%）であった。

5 市町村立図書館等へのサービスの状況

(1) 協力貸出・相互貸借

ア 協力貸出

平成 30 年度の当館から県内・県外の図書館等への協力貸出数は、全体で 19,443 冊・点（前年度比 98.9%）であった。なお、市町村立図書館からの要望を受け、雑誌の協力貸出を平成 30 年 4 月 1 日からの試行期間を経て、同年 10 月 1 日から本実施に移行した。発行から 1 年以上経過した雑誌のバックナンバーを借受け館での館内閲覧に限り 2 週間貸出するものである。

貸出対象	冊・点数	前年度比
県内市町村立図書館 (図書館未設置自治体の公民館図書室を含む)	15,091	95.3%
県外の図書館等	1,745	87.4%
県内の大学図書館	333	130.6%
県内の学校図書館	2,035	131.8%

県内市町村立図書館への貸出 15,091 冊・点のうち、雑誌の協力貸出数は 279 冊（試行期間を含む。）

イ 相互貸借

平成 30 年度の当館を經由した東海・北陸地区（岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県及び本県）内の相互貸借冊数は、全体で 46,835 冊（同 99.9%）であった。

	冊・点数	前年度比
県内の市町村立図書館、大学図書館等間の相互貸借	44,137	100.6%
東海・北陸地区の図書館間の相互貸借 (県図書館からの貸出分を除く。)	2,698	89.8%

(2) 遠隔地返却制度

愛知県図書館で借りた資料を地元の図書館で返却できる遠隔地返却制度（平成24年度開始）の対象自治体は、東三河地区（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村）、西三河地区（岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、高浜市、幸田町）、知多地区（半田市、常滑市、阿久比町、南知多町、美浜町、武豊町）の21市町村で、平成30年度の利用は3,108冊・点（前年度比118.9%）であった。

平成28年度に、遠隔地返却の電算システム改修を行い、地元の図書館で返却処理の後、当該図書が県図書館へ返送中であることを電算システムに反映させることで、地元図書館での返却と電算システム上での実際の返却処理のタイムラグが解消された。

(3) 市町村立図書館への支援

ア あいちラストワン・プロジェクト

県内で1図書館のみが所蔵する希少資料（ラストワン）を将来にわたって確実に保存し、利用できるよう県内市町村立図書館と協同して取り組んでいるプロジェクトで、平成25年1月から試行し、平成26年10月から実施している。

平成31年3月末時点で図書館を持つ48市町村のうち47市町村（48館）が参加している。平成30年度は、市町村立図書館において保存が困難とされた491冊の希少資料が愛知県図書館に移管され、当館の所蔵は累計2,405冊となった。

イ 研修講師派遣

平成30年度は、県内外で実施された図書館や関係団体が主催する研修会等へ、講師として職員15名（前年度19名）を派遣した。また、情報交換のために延べ80名（同17名）の職員が市町村立図書館を訪問した。

6 その他

(1) 館内職員研修の実施

平成29年度から、県政の一端を担う県図書館職員養成を目標に、グループワークなど参加型研修手法を積極的に導入した館内職員の研修を実施した。市町村立図書館職員にも参加を呼びかけており、県内図書館職員へ自己研鑽の機会を提供している。

回数	開催日	内容	参加者(うち市町村立図書館職員)
第1回	5月10日	「2017年障害者サービス担当職員養成講座」報告	69人(11名)
第2回	9月13日	名古屋市図書館と学校の連携・協力について 愛知県図書館の県立学校への協力貸出について	53名(7名)
第3回	10月11日	「あいち文化芸術振興計画2022～文化芸術の力で心豊かな県民生活と活力ある愛知の実現をめざして」について	40名
第4回	12月13日	愛知県情報公開条例について 情報公開制度を知るためのブックガイド	60名
第5回	1月10日	認知症について 愛知県図書館における認知症対応について	57名(4名)
第6回	2月14日	図書館での展示における効果的な広報テクニックについて	62人(13人)
第7回	3月13日	今日から始める障害のある方への接客・きほんの「き」～劇場職員セミナー2019からの報告	56人(5人)

(2) 図書館サポーター

平成 30 年度の「おはなし会サポーター」の登録は 28 名で、毎月第 1 日曜日、第 3 土曜日、第 2・4 水曜日に絵本の読みきかせや紙芝居、わらべうた、ストーリーテリングなどの実演を行った。また、大人を対象にした「大人のためのお話会」を 9 月と 1 月に開催し、朗読やストーリーテリングの実演を行った。

破損・汚損した図書の補修を行う「資料補修サポーター」には、2 名の登録があり、補修作業を行った。

(3) 体験学習・図書館実習の受入

小中高生の見学や体験学習を始め、司書課程の学生の図書館実習など 35 件 264 人を受け入れた。

(4) 県内図書館の動向

平成 31 年 4 月 1 日現在の県内の図書館設置市町村は 48 (38 市 9 町 1 村)、未設置町村は 6 (豊山町、大治町、南知多町、設楽町、東栄町、豊根村) で図書館設置率は 88.9% (48/54 市町村) である。

県内で図書館業務に指定管理者制度を導入している公共図書館は全 100 館 (分館含む) 中 25 館 (前年度 25 館) で、その内訳は図書館業務全般への導入が 21 館、施設管理のみ導入が 4 館 (含む愛知県図書館) である。

(5) 県内図書館団体等の動向

ア 愛知県公立図書館長協議会

愛知県公立図書館長協議会は、昭和 43 (1968) 年、県内公立図書館相互の連絡と図書館活動の推進を図ることを目的に設立され、現在 69 館 (図書館設置の全市町村及び名古屋市分館) が加入、図書館業務に関する研修会、調査等の事業を実施している。また同協議会にヤングアダルトサービス連絡会と図書館ネットワーク研究会が設置されている。

(ア) ヤングアダルトサービス連絡会

ヤングアダルトサービスに関する情報を広く収集し周知するため研修を開催した。一宮市、知立市のヤングアダルトサービスに関する事例発表、及び情報交換を行った (9/19、参加者 52 人)。また、ヤングアダルト向けのブックガイド『ティーンのための A i c h i L i b r a r i a n s ' C h o i c e A・L・Cあるく』第 6 号を作成し、会員館にメールで送付するとともに県図書館ホームページで公開している。

(イ) 図書館ネットワーク研究会

県内図書館が連携して実施する広報・PR 事業として、「高校スポーツ」と「見る知る食べる！あいちの観光」を共通テーマにイベント「@ (アット) ライブラリー」を行った。県図書館のホームページに特設ページを設け、参加館のイベント情報を掲載、「高校スポーツ」には 24 館、「見る知る食べる！あいちの観光」には 12 館が参加した。

また、ホームページ内に県内公共図書館の施設・設備等を紹介するページ「愛知県内公立図書館一覧」を掲載している。

(ウ) 研修会

回数	開催日	演題	講師	参加者
第1回	6月14日	(講演) 図書館の仕事：レファレンスサービス利用者の求める情報を迅速・的確に提供するために	岡崎信美氏	60人
第2回	6月28日	(講演) 特別支援学校の子どもたちとの読書活動 (解説) 本県の特別支援教育について (愛知図書館協会との共催)	佐藤涼子氏 加藤由美子氏	117人
第3回	12月11日	(講演) 竹島水族館復活の秘密～水族館から学べること (事例発表) おおぶ文化交流の杜図書館の事例	小林龍二氏 峯岸進氏	55人
第4回	2月7日	(講演) 古典籍整理の方法－書誌学の立場から (事例発表) 古典籍の受入から提供まで－愛知県立大学の場合	狩野一三氏 新川裕美氏	52人

イ 愛知図書館協会

愛知図書館協会は、昭和25(1950)年に図書館事業の進歩発展を図り、もって教育と文化の振興に寄与することを目的に設立された。主な事業は県内図書館職員向けの研修会の企画・実施である。会員には、施設会員(93機関)、個人会員(64人)及び賛助会員(8団体)の3種がある。

同協会が実施する研修は、実務への応用を主眼に、講義と演習を組み合わせた連続受講形式のものを主とし、平成30年度に実施した研修は次のとおりである。

研修名	開催日	内容	参加者
児童サービス研修	6月28日 7月13日 9月14日 10月11日 12月14日	児童サービスに必要な知識と技術に関する講義と演習を連続4回の受講形式(うち1回は愛知県公立図書館長協議会との共催による拡大講座(6/28))とステップアップ研修(12/14)で構成し実施。	連続講座 20人 拡大講座 117人 ステップアップ研修 10人
レファレンスサービス研修	9月28日 10月26日 12月5日	レファレンスのインタビュー技法、参考資料の評価等の講義と演習による連続3回の受講形式の研修。	24人
図書館と個人情報	8月3日	図書館で個人情報を扱う上での留意点について学ぶ研修。	70人
図書館の危機管理	2月22日	図書館において予想される様々な危機(職員に対する不当行為、災害など)について、対処方法を学ぶ研修。	42人
統計研修	3月5日 3月7日	愛知淑徳大学の協力による、図書館での統計業務に関して講義と実習を組み合わせた2日間の研修。	20人

(6) 来館者アンケート調査結果 平成29年度、平成30年度

愛知県図書館では、来館者の利用行動や評価、要望を知るため、平成17年度からアンケートを行っており、平成29年度は、平成29年11月26日(日)と28日(火)、平成30年度は、平成31年1月20日(日)と22日(火)に実施した。

詳細については、ホームページ「県図書館の発行物」

(<https://websv.aichi-pref-library.jp/publish.html>)に掲載している。

平成29年度

実施日	11月26日(日)	11月28日(火)	計
配付数	650枚	650枚	1,300枚
回収数	366枚	435枚	801枚
回収率	56.3%	66.9%	61.6%
入館者数	2,090人	1,960人	4,050人

平成 30 年度

実施日	1 月 20 日 (日)	1 月 22 日 (火)	計
配付数	500 枚	500 枚	1,000 枚
回収数	280 枚	312 枚	592 枚
回収率	56.0%	62.4%	59.2%
入館者数	2,034 人	1,757 人	3,791 人

ア 来館者について

年代では例年 60 代の来館者が最多だが平成 29 年度は学校の試験期間中に調査を実施したため 10 代の来館者が最も多く 20.3%、次いで 60 代 18.2%、50 代 15.1%であった。平成 30 年度の 10 代の来館者は 10.8%で、60 代、70 代、50 代、40 代に続いて順位は 5 位であった。

職業別では、「お勤めの方」の割合が最も高く、平成 29 年度は 36.8%、平成 30 年度は 43.8%であった。学生の比率は減少傾向にあり平成 24 年度以降 20%を下回っているが、平成 29 年度は一時的に増加し 24.8% (前年比 10.7%増)、平成 30 年度は 14.4% (同 10.4%減)であった。

イ 来館頻度について

「月数回」が平成 29 年度は 36.7%、平成 30 年度は 36.5%で最も多く、次いで「週 1 回以上」が平成 29 年度は 27.1%、平成 30 年度は 25.7%であった。「月 1 回」以上が全体の約 8 割を占めており、平成 29 年度は 77.2%、平成 30 年度は 76.4%であった。県図書館の利用頻度別に地元図書館の利用頻度を見ると、月 1 回以上県図書館を利用している人は、4 割以上が月 1 回以上地元の図書館を利用しており、県図書館と地元の図書館を使い分けている実態がうかがえる。

ウ 来館目的について(複数回答可)

来館者全体でみると「娯楽や趣味」が第 1 位である。割合は平成 22 年度の 29.5%から増加傾向にあったが、平成 29 年度は 28.7%、平成 30 年度は 29.4%であった。(平成 29 年度から質問項目の「娯楽・教養」を「娯楽や趣味」に変更。)年齢が高くなるほど、その年代の目的全体に占める割合が高くなっている。次いで「勉強」、「調査・研究」が続く。

年代別でみた来館目的の特徴的な回答は、10 代、20 代は「勉強」が最も高く、平成 29 年度は 10 代 77.9%、20 代 36.4%、平成 30 年度は 10 代 65.5%、20 代 48.7%となっている。50 代以上は「調査・研究」が第 2 位となっており、課題解決型図書館としての役割を果たしていると考えられる。

エ サービスの重要度と満足度 *4 段階評価(中心値は 2.5)

いずれの年も重要度が高かったのは「館内の案内表示のわかりやすさ」で、平成 29 年度は 3.37 点、満足度 3.25 点、平成 30 年度は 3.43 点、満足度 3.21 点であった。サインの改善が求められていることがうかがえる。満足度が高かったのは「レファレンスサービス」で平成 29 年度は重要度 3.31 点に対して満足度 3.13 点、平成 30 年度は重要度 3.11 点に対して満足度 3.33 点であった。資料の提供については「地域の文化・歴史」、「ものづくり・ビジネス」、「健康・医療」についての満足度がいずれの年も高かった。これらの資料は重点的に収集している分野である。

V 実施事業一覧

1 展示及び関連講演会等 (57回 参加者：延べ441人)

展示名	期間	会場	備考
明治150年企画 明治維新のふるさとを訪ねて	平成30年3月16日(金) ～6月13日(水)	2階	かつて「薩長土肥」と呼ばれていた現在の鹿児島県、山口県、高知県、佐賀県の歴史や文化、観光などに関する資料を展示。また、4県の観光案内パンフレットを配布。
明治150年企画 明治の教科書	平成30年3月16日(金) ～6月13日(水)	2階	当館所蔵明治期教科書コレクションから、西洋の知識を取り入れた特徴的な教科書を展示。
明治150年企画 明治の光と影～明治の乱・事件／明治の青春～	平成30年3月16日(金) ～6月13日(水)	3階	「乱・事件」「青春」をキーワードに、西郷隆盛や西南戦争などの歴史、明治の文学や明治時代を描いた小説などを集めて展示。
講演会 明治150年と明治村	平成30年6月2日(土)	AVホール	博物館明治村の施設紹介と観光案内を、明治150年に関連づけて講演。講師 中野裕子氏(博物館明治村主任学芸員)。参加者82人。
ティーンズコーナーミニミニ展示 A・L・Cあるく第5号発行!	平成30年3月16日(金) ～6月13日(水)	3階	県内の図書館員が集まって10代に薦める本を紹介する冊子A・L・Cの第5号「テーマ：働く!」で取り上げている本を展示。
児童室展示 本の帯コンクール優秀作品巡回展示	平成30年5月11日(金) ～20日(日)	児童室	平成29年度本の帯コンクール(主催 名古屋市教育委員会)の優秀作品17点と作品の元となった図書を展示。
児童室テーマ展示 ワールドカップ2018開催地 ロシアってどんな国?	平成30年5月11日(金) ～7月11日(水)	児童室	FIFAワールドカップ2018開催地のロシアについて、歴史や文化を紹介した本や、昔話・民話などの絵本・児童書を展示。
児童室展示 追悼かこさとしさん	平成30年5月11日(金) ～7月11日(水)	児童室	平成30年5月2日に亡くなった絵本作家・紙芝居作家・児童文化研究者のかこさとしさんを悼み、著者の作品と関連図書を展示。
企画展示 新聞切り抜き作品コンクール優秀作品展	平成30年6月15日(金) ～7月1日(日)	1階	中日新聞社主催「新聞切り抜き作品コンクール」の県内の優秀作品を中心に25点を展示するとともに新聞に関する図書を展示。(共催：中日新聞社)
特別教室 楽しく学べる 新聞活用講座	平成30年6月30日(土)	1階(Yotteko)	新聞についてゲームをしながら楽しく知ることができる講座を開催。参加者33人。(主催：中日新聞社)
企画展示 カフェをめぐる冒険	平成30年6月15日(金) ～8月8日(水)	1階	喫茶店やカフェという場を、文化史、歴史、文学、美術などさまざまな観点から紹介する展示。
明治150年企画 産業遺産を訪ねる	平成30年6月15日(金) ～9月12日(水)	1階・2階	明治以降の近代産業の発展の礎となった県内の産業遺産を中心に関連資料を展示するとともに、各地の産業遺産や観光パンフレットを配布。
@ライブラリー 高校スポーツ	平成30年6月30日(土) ～10月10日(水)	県内	県内市町村図書館との連携事業。高校スポーツに関連した資料の展示やイベント実施を呼びかけ、HP上で参加館の情報をPR、資料の配布などの協力を行った。参加館24館、のべ26件のイベントを登録。
ミニ展示 第159回芥川賞・直木賞候補作家たち	平成30年7月3日(火) ～8月8日(水)	3階	第159回芥川賞・直木賞にノミネートされた候補者の作品を集めて展示。
地域資料展示 近代愛知のものづくり展	平成30年7月13日(金) ～9月12日(水)	2階	愛知県の製造業発展の歴史を紹介するため、当館初公開の貴重な近代産業関係資料を中心に展示。

展示名	期間	会場	備考
明治150年企画 企画展示 戦国合戦と刀剣	平成30年7月13日(金) ～9月12日(水)	3階	戦国合戦や武具についての図書、刀剣をテーマとした物語(時代小説・剣豪小説)を展示。
講演会 徳川美術館の名刀探訪	平成30年8月4日(土)	大会議室	徳川美術館で開催の特別展「名刀紀行―五箇伝巡り―」と、本館企画展示「戦国合戦と刀剣」を関連させた講演。講師 並木昌史氏(徳川美術館学芸員)。参加者62人。
ティーンズコーナー展示 中学生はこれを読め!	平成30年7月13日(金) ～8月31日(金)	3階	愛知県書店商業組合が実施する中学生フェア「第13回本屋のオヤジのおせっかい 中学生はこれを読め!」で配布される「100選リスト」から抜粋された「朝の読書版 これ読め30冊」にある図書を展示。
ティーンズコーナー展示 何する?どこ行く?夏休み!!	平成30年7月13日(金) ～9月12日(水)	3階	スポーツを始め、宿題やレジャーなど、中高生の夏休み中の活動を応援する本を展示。
ティーンズコーナー展示 第7回てこぼん大賞!	平成30年7月13日(金) ～9月12日(水)	3階	利用者が書いたおススメ本の紹介カード(POP)と対象図書を展示し、来館者等による人気投票を実施。
企画展示 豊川用水通水50周年記念パネル展示	平成30年7月13日(金) ～9月12日(水)	1階	豊川用水通水50周年を記念し、パネルを展示するとともにパンフレットを配布。
児童室テーマ展示 2017年をふりかえって～昨年出版されたおすすめの子どもの本～	平成30年7月13日(金) ～9月12日(水)	児童室	2017年に刊行された児童書・絵本の中から選んだ名作を展示。
ミニ展示 追悼 さくらももこ展	平成30年9月4日(火) ～10月10日(水)	1階	『ちびまるこちゃん』で知られる漫画家さくらももこさんを悼み、さまざまな著作を展示。
児童室テーマ展示 いわさきちひろ生誕100年	平成30年9月14日(金) ～11月7日(水)	児童室	童画家・絵本作家いわさきちひろの生誕100年を記念して著者の作品を展示。
やきものの産地(ふるさと)を巡る	平成30年9月14日(金) ～平成31年2月27日(水)	1階・2階	瀬戸・常滑をはじめ、全国各地の陶磁器など、やきものの歴史文化に関する資料を展示。また、全国各地のやきもの祭りとやきもの関連施設や観光案内パンフレットを配布。
災害と防災―過去の災害から学び、未来に備え、今できること―	平成30年9月14日(金) ～11月7日(水)	1階	愛知県で過去に起きた災害に関する資料と地震や気象、防災に関する資料を展示。
講演会 過去から学び、いまを知り、将来の南海トラフ巨大地震に備える	平成30年10月20日(土)	AVホール	当館の展示「災害と防災―過去の災害から学び、未来に備え、今できること―」の関連企画として名古屋大学減災連携研究センター 特任准教授 倉田和己氏による講演会を開催。参加者30人。
地域資料展示 愛知の自然災害史展	平成30年9月14日(金) ～11月7日(水)	2階	近世・近代において愛知県地域に多大な被害をもたらした風水害や濃尾地震などの記録、当時の写真を展示。
児童・ティーンズ展示 青少年によい本をすすめる県民運動の本	平成30年10月2日(火) ～11月7日(水)	1階	青少年によい本をすすめる県民運動(主催:愛知県・愛知県青少年育成県民会議)の強調月間(10月)にあわせて、「読書感想文・感想画」の募集図書及び「青少年のための優良図書目録」の図書を展示。
図書館講演会	平成30年11月11日(日)	大会議室	愛知県書店商業組合 理事長 春井宏之氏の講演「AI時代にこそ、生きる読書」と職員によるティーンズコーナーの紹介「ティーンズコーナーってこんなところ」。参加者49人。(共催:愛知県県民文化部社会活動推進課)

展示名	期間	会場	備考
ミニ展示 本庶佑氏 ノーベル医学生理学賞受賞記念展示	平成30年10月2日(火)～平成31年1月9日(水)	1階	2018年のノーベル医学生理学賞を受賞した本庶佑氏の著作、がん免疫療法に関連する資料を展示。
企画展示 あいちの祭り	平成30年10月12日(金)～11月7日(水)	1階	ものづくり王国あいちにまつわる祭りを中心にパネル、資料を展示。
東三河コーナー展示 星のまちへようこそ	平成30年10月12日(金)～平成31年1月9日(水)	1階	愛知県の星空の聖地“奥三河”を観光ポスター、観光パンフレット、関連イベントなどで紹介。
愛知県図書館で星座観察をしてみよう!	平成30年12月9日(日)	AV室	「星のソムリエ」による星座案内と、奥三河星座早見盤の工作、作った早見盤を使っての星空観察を模擬体験するワークショップ。参加者20人。
企画展示 愛知のやきもの	平成30年11月9日(金)～平成31年2月27日(水)	1階	古窯及び「あいちの伝統的工芸品及び郷土伝統工芸品」となっているやきものを中心とした県内の陶磁器の歴史、文化、産地に関する図書などを展示。
講演会 愛知のやきもの一収蔵品を語るー	平成31年1月26日(土)	AVホール	瀬戸市美術館長 服部文孝氏と愛知県陶磁美術館学芸課長 佐藤一信氏の両名による、あいちの焼き物文化についてのダブル講演。参加者41人。
地域資料展示 愛知の陶磁器産業史	平成30年11月9日(金)～平成31年2月27日(水)	2階	瀬戸焼や常滑焼など近世・近代のやきもの製造の様子が窺える資料を展示し、愛知県における陶磁器産業発展の歴史を紹介。
企画展示 やきもの産業あれこれ	平成30年11月9日(金)～平成31年2月27日(水)	4階	食器、衛生陶器や建設資材に代表されるセラミックス製品に加え、ファインセラミックスの他分野への応用に関する資料などを展示。
やきもの産業ミニトーク 日本の瓦の歴史と三州瓦の発展	平成30年12月1日(土)	1階 (Yotteko)	日本の瓦の歴史を見ながら、なぜ三州瓦が発展してきたかを考える。講師 星幸二氏(あいち産業科学技術総合センター三河窯業試験場)。参加者25人。
ミニ展示 奥山景布子の世界	平成30年11月25日(日)～平成31年1月9日(水)	3階	平成30年度、新田次郎文学賞、本屋が選ぶ時代小説大賞を受賞した、愛知出身の作家奥山景布子氏の作品と関連図書を展示。
@ライブラリー 見る知る食べる!あいちの観光	平成30年11月2日(金)～平成31年2月13日(水)	県内	県内市町村図書館との連携事業。あいちの観光に関連した資料の展示やイベント実施を呼びかけ、HP上で参加館の情報をPR、資料の配布などの協力を行った。参加館12館、のべ15件のイベントを登録。
児童室テーマ展示 クリスマスの本	平成30年11月9日(金)～12月27日(水)	児童室	クリスマスに関する児童書や絵本を集めて展示。
ミニ展示 野球選手の本棚: 根尾昂から大谷翔平まで	平成30年11月20日(金)～平成31年1月9日(水)	1階	野球選手の根尾昂さんの愛読書が話題となり、また球界では読書家と呼ばれる人が多くいることから、その愛読書や推薦図書の一部を展示。
ミニ展示 決めるのはあなたの一票 知事選挙	平成30年12月14日(金)～平成31年2月3日(日)	1階	平成31年1月17日(木)告示、2月3日(日)投開票の愛知県知事選挙に関連して、選挙制度、地方自治や知事の仕事に関する所蔵資料を展示。
ティーンズコーナー ミニミニ展示 頑張れ!受験生2019	平成30年12月14日(金)～平成31年2月27日(水)	3階	受験に役立つ本や、健康管理の本、息抜きできる本などを集めて展示。
ミニ展示 第160回芥川賞・直木賞候補作家たち	平成30年12月21日(金)～平成31年2月13日(水)	3階	第160回芥川賞・直木賞にノミネートされた候補者の作品を集めて展示。

展示名	期間	会場	備考
児童室テーマ展示 干支 亥 いのししの本	平成31年1月5日(土) ～2月27日(水)	児童室	今年の干支 亥(いのしし)に関する児童書や絵本を集めて展示。
ティーンズコーナーミニミニ展示 祝成人 若い人に贈る読書のすすめ2019	平成31年1月11日(金) ～2月13日(水)	3階	読書推進運動協議会が成人式・卒業式など新たな人生の一步を踏み出す若い人に紹介する本や、民法改正により2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げられることにちなみ、「18歳成人」や「大人になること」について考える本等を展示。
企画展示 地域から見る 明治150年を支えた愛知のものづくり～知多半島地域を中心に～	平成31年1月11日(金) ～2月27日(水)	1階	知多半島地域を中心としたものづくりの資料とパネルを展示するとともに、観光案内パンフレットを配布。
企画展示 起業を応援します in 愛知県図書館	平成31年1月11日(金) ～2月27日(水)	1階	起業の方法や、体験等を記した図書や社史と、日本政策金融公庫作成の起業に関するパネルなどを展示。 (共催：日本政策金融公庫)
起業セミナー 落語で学ぶ! ゆるく始めて長く続ける 商売の極意～笑って夢を叶えよう～	平成31年2月9日(土)	大会議室	名古屋出身の落語家であり、駄菓子屋バーを営む、雷門福三師匠による講演&落語。参加者53人。
二度目の旅は図書館から 蒲郡-海辺のまちの戦国時代-	平成31年1月11日(金) ～2月27日(水)	1階	海辺の小さなまち-蒲郡-で起こった戦国時代の動乱を、蒲郡市図書館製作パネルや関連資料の展示で紹介。あわせて蒲郡市の観光情報も提供。
ライブラリートーク 『蒲郡市史』で読み解く戦国時代	平成31年2月16日(土)	AVホール	蒲郡市立図書館司書によるライブラリートーク。海辺の小さな町に起きた、戦国期の動乱を『蒲郡市史』を使ってひもとく。参加者35人。
ミニ展示 難病を読む	平成31年2月15日(金) ～27日(水)	1階	2月28日が「RDD2019(世界希少・難治性疾患の日)」であることをふまえ、難病啓発に関連する図書等を展示。
ミニ展示 白血病を読む	平成31年2月15日(金) ～27日(水)	1階	白血病に関する図書、闘病記を展示。
企画展示 新聞切り抜き作品コンクール優秀作品展	平成31年3月15日(金) ～4月3日(水)	1階	中日新聞社主催「新聞切り抜き作品コンクール」の県内の優秀作品を中心に約25点を展示するとともに新聞に関する図書を展示。(共催：中日新聞社)
新聞切り抜き作品教室	平成31年3月24日(日)	中会議室	新聞記事を使った新聞切り抜き作品教室を開催(主催：中日新聞社 共催：愛知県図書館)。参加者2組。

2 連続講座、シリーズ企画

ア 愛知県美術館学芸員による連続講座 美術と文学 (4回 参加者：181人)

行事名	開催日	会場	備考
第1回 レーピンと19世紀ロシアの作家たち	平成30年6月22日(金)	1階 (Yotteko)	講師 古田浩俊氏(愛知県美術館副館長)。参加者40人。
第2回 ムンクとイプセンの戯曲『幽霊』	平成30年8月24日(金)	1階 (Yotteko)	講師 深山孝彰氏(愛知県美術館美術課長)。参加者35人。
第3回 マルセル・デュシャンの図書館	平成30年10月26日(金)	1階 (Yotteko)	講師 南雄介氏(愛知県美術館館長)。参加者51人。

行事名	開催日	会場	備考
第4回 辻邦生とその周辺	平成30年12月21日(金)	1階 (Yotteko)	講師 拝戸雅彦氏(愛知県美術館 企画業務課長)。参加者55人。
関連展示 美術小説宣言! : 文学に 描かれたアート	平成30年10月12日(金) ~平成31年1月9日(水)	1階	講座に關係する図書と、アートが テーマの文学作品を展示。

イ 作ってみよう!シリーズ(4回 参加者:59人)

行事名	開催日	会場	備考
第1回 作ってみよう!読書手帳	平成30年4月15日(日)	1階 (Yotteko)	読んだ本の記録を残せる読書手帳 を作成。参加者19人。
第2回 作ってみよう!母の日・父の日カード	平成30年5月12日(土)	1階 (Yotteko)	母の日、父の日におくる、手づく りカードを作成。参加者20人。
第3回 作ってみよう!クリスマスリース	平成30年11月18日(日)	1階 (Yotteko)	紙ひもをリボンや木の実でかざり クリスマスリースを作成。参加者10人。
第4回 作ってみよう!イノシシのねんどざいく	平成30年12月16日(日)	1階 (Yotteko)	紙ねんどで干支のイノシシを作 成。参加者10人。

ウ いきもの教室(3回 参加者:53人、親子10組)

行事名	開催日	会場	備考
第1回 名古屋城外堀ヒメボタルとみんな	平成30年4月22日(日)	児童室	講師 安田和代氏(名古屋城外堀ヒ メボタルを受け継ぐ者たち 代 表)。参加者19人。
第2回 骨格からトリケラトプスを知ろう!— ホネホネワークショップ—	平成30年7月29日(日)	AV ホール	講師 藤原慎一氏(名古屋大学博物 館 助教)。参加者親子10組。
第3回 めざせ!メダカ博士—メダカ飼育係さ んの出前講座	平成30年9月22日(土)	1階 (Yotteko)	講師 水野展敏氏(東山動物園 飼 育第二係技能長)。参加者34人。

エ 健康講座(5回 参加者:84人)

行事名	開催日	会場	備考
第1回 こどもの健康講座「幼児期の歯の 健康 親子で歯みがき!」	平成30年6月9日(土)	1階 (Yotteko)	講師 小栗智江氏(愛知県健康福祉 部健康対策課)。参加者17人。
第2回 こどもの健康講座「親子で楽し く学ぶ 冬の感染症予防」	平成30年11月10日(土)	児童室	講師 九澤沙代氏(愛知県健康福祉 部児童家庭課)。参加者17人
第1回 「あいち健幸社会」セミナー講 演会「住み慣れた地域で暮らし続ける ために—地域包括ケアの推進—」	平成30年11月22日(木)	1階 (Yotteko)	講師 平野礼氏、山下智子氏(愛知 県健康福祉部地域包括ケア・認知 症対策室)。参加者19人。
関連展示 長寿社会の”これから” に備える基礎知識	平成30年10月12日(金) ~12月12日(水)	4階	認知症、在宅介護、年金、介護保 険など長寿社会の気になるあれこ れを解決する資料を展示。

行事名	開催日	会場	備考
第2回「あいち健幸社会」セミナー「なんでも だれでも がん相談会 at 図書館」	平成31年1月25日(金)	1階 (Yotteko)	相談員 三浦なつ子氏、稲垣民子氏(公立陶生病院がん相談支援センター)。参加者22人。
関連展示 がんを知る がんにつきあう	平成31年1月11日(金) ～2月27日(水)	4階	がんとは何か、治療法、退院後の生活など、患者やその周囲の人たちの不安を解消する資料を展示。
第3回こどもの健康講座「大丈夫?こんなところに危険がいっぱい!」	平成31年2月23日(土)	児童室	新美志帆氏(あいち小児医療総合センター保健室)。参加者9人。

オ リベラルアーツカフェ (4回 参加者:199人)

行事名	開催日	会場	備考
第1回 大規模災害 そのとき子どもたちの命を守るには?～これを知っていれば大丈夫～	平成30年9月14日(金)	1階 (Yotteko)	講師 清水宣明氏(愛知県立大学看護学部 教授)。参加者33人。
第2回 図書館で能と出会う	平成30年11月29日(木)	1階 (Yotteko)	出演 辰巳満次郎氏(シテ方宝生流能楽師)、野住智恵子氏(コンテンツ・プロデューサー)。参加者68人。
第3回 近代愛知ものづくり事始め	平成30年12月4日(火)	1階 (Yotteko)	講師 中島茂氏(愛知県立大学 教授)。参加者33人
第2回・第3回リベラルアーツカフェ関連展示	平成30年11月9日(金) ～12月12日(水)	1階 (Yotteko)	第2回、第3回それぞれのテーマに関連した資料を展示。
第4回 リトアニアとイスラエルから見た「命のヴァイザ」:杉原千畝研究の最先端	平成31年3月15日(金)	1階 (Yotteko)	講師 稲葉千晴氏(名城大学 教授)。参加者65人
第4回リベラルアーツカフェ関連展示	平成31年2月15日(金) ～3月15日(金)	1階 (Yotteko)	杉原千畝に関する資料、講師著書等を展示。

3 その他の企画 (9回 参加者:延べ155人) (2月末現在)

行事名・対象	開催日	会場	備考
としょかんの『おしごと』をやってみよう! 小学4～6年生	平成30年7月26日 (木)、27日(金)	児童室	小学生に図書館員の仕事を体験してもらうイベント。カウンターでの貸出・返却や、書架の整とん、ブックカバー貼りを行った。参加者23人。
としょかんの中をたんけんしよう! 小学生	平成30年7月28日 (土)、8月1日(水)	館内	夏休み期間に、普段利用者が立ち入ることができないバックヤードを中心に館内を案内。参加者69人(付添含む)。
バイオカフェ in 愛知県図書館 第3回	平成30年 10月21日(日)	1階 (Yotteko)	講師と参加者がバイオについて語り合うイベント。「ゲノム編集で新しいタイ・フグを作る」(講師:京都大学 農学研究科 助教 木下政人氏) 参加者32人。(共催:NPO法人くらしとバイオブラザ21)
秋の図書館探検ツアー 一般(中学生以上)	平成30年10月28日 (日)、11月9日(金)	館内	秋の読書週間に、普段利用者が立ち入ることができないバックヤードを中心に館内を案内。参加者17人。
手に取る書庫内図書ツアー	平成31年 2月24日(日)	書庫・ 中会議室	普段は入れない書庫内の本を手にとって、お気に入りの1冊を見つけてもらうもの。見つけた本を参加者同士で紹介。参加者11人

行事名	開催日	会場	備考
新聞活用講座 データベースで新聞記事を探そう	平成31年 3月23日(土)	2階	新聞記事データベース「朝日新聞 聞蔵Ⅱビジュアル」と「中日新聞・東京新聞記事データベース」の基本的な使い方をわかりやすく紹介。参加者3人
てこぼん	通年	3階	利用者が投稿したおすすめ本の紹介カード(POP)をティーンズコーナーに掲示。投稿ポイントは図書館グッズと引換可能。てこぼんとは「ティーンズ コーナー ポイント Get大作戦!」の略称。年度内の投稿数41枚。来館者等の人気投票で決める「第7回てこぼん大賞!」を実施。投票数44票。

4 名画鑑賞会 (25回 入場者:延べ1,570人 会場:1階AVホール)

開催日	上映作品名	開催日	上映作品名
平成30年 4月19日(木)、22日(日)	マダム・イン・ニューヨーク	10月18日(木)、21日(日)	時よとまれ君は美しい ミュンヘンの17日
5月17日(木)、20日(日)	ノー・マンズ・ランド	11月15日(木)、18日(日)	バルカン超特急
6月21日(木)、24日(日)	真昼の決闘	12月20日(木)、23日(日)	若草物語
7月19日(木)、22日(日)	紙屋悦子の青春	平成31年 1月17日(木)、20日(日)	グレート・ワルツ
8月16日(木)、19日(日)	仔鹿物語	2月21日(木)、24日(日)	シラノ・ド・ベルジュラック
9月20日(木)、23日(日)	ピグマリオン	3月21日(木)、22日(金)、 24日(日)	殯(もがり)の森

5 児童図書室行事 (78回 参加者:延べ1,240人)

行事名	開催日	会場	備考
あかちゃん向けおはなし会	平成30年4月から平成31年3月までの毎月第2・4水曜日(3月は第4水曜日のみ)。	児童室	赤ちゃん(0~2歳児)向け。わらべうた、絵本の読み聞かせ、紙芝居などを実施。23回 参加者408人。
おはなし会	平成30年4月から平成31年3月までの毎月第1日曜日と第3土曜日(3月は第3土曜日のみ)。	児童室・1階 (Yotteko)	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなどを実施。(幼児向け(午前)・小学校低学年向け(午後)) 1日2回×23日 参加者延べ618人。
おたのしみ会	平成30年8月2日(木)、8月3日(金)、12月23日(日)	1階 (Yotteko)	夏休みと冬休みのイベントとして実施。午前の幼児向けはおはなし会、午後の小学生向けは、夏は実験と工作、冬はおはなし会と工作。1日2回×3日 参加者延べ102人。
大人のためのお話会	平成30年9月29日(土)、平成31年1月11日(金)	AV ホール	大人を対象としたストーリーテリング、朗読などを実施。参加者36人。
「わくわく 絵本はアート! by 県図書」	平成30年11月3日(土)	愛知芸術文化 センター12階 アトリエD	「久屋ぐるっとアート」参加イベント。おはなし会、絵本の展示、折り紙、クイズなどを実施。参加者76人。

1~5 実施事業合計 189回